

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

私たち株式会社 肥後建設社は、「全社員の幸福の追求を基本とし、インフラ整備を通して地域社会発展に貢献する」を経営理念に掲げ、理念の実現に向け全社員一丸となって行動し、人々の安心安全、便利で快適な生活・地域・産業づくりに深く関わっている。私たちの事業そのものがSDGsあらゆる局面に関与しており、経営理念に基づくSDGs達成への取り組みが2030年までに次世代に負担を残さない社会づくりにつながっていく。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時にに向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	CO2削減のため、設備の省電力化、社用車、使用重機にHV車を導入する。	2026年までの指標 ・本社の省電力化(2023年比▲15%) ・HV製の重機または社用車を1台以上導入
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	多様な人材が十分に活躍できるよう性別国籍問わず、新規・中途採用を増やし、世界に通用する技術者を育成する。	一級土木施工管理技士育成 2023年0名→2026年7名
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	認定され運用しているISO9001・BCP・プライト企業・エコアクション21・SDGsの維持推進に努めるとともに、小国郷のリーディングカンパニーとしての自覚と誇りを醸成する。	毎年一回の安全大会、月二回の会議で全社員への周知による維持推進

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時にに向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

インフラを守りつづけていくために、全社員で技術力向上への不断の努力をし、住民・行政との信頼関係を構築します。ステークホルダー、縁ある全ての人たちとパートナーシップを結び、SDGs目標達成に向けた取り組みを続けるために、社員一人ひとりが働きやすい環境を提供しサステナブルな経営を実施する。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	CO2削減のために、設備の省電力化、社用車にHV車を導入する	2023年までにハイブリット製社用車を1台以上導入する
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	社用車の入れ替えに伴い、ハイブリット車を1台購入	2023年にハイブリット車1台購入
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	多様な人材が十分に活躍できるよう新規・中途採用の雇用を増やし、技術者を育成する	2023年までに一級土木施工管理技士を3名育成
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	新卒・中途採用は計画通り達成したが、施工管理技士の免許取得までは至らなかった。	2021年に3名、2022年に2名採用。しかし、一級土木施工管理技士試験は全員不合格であった。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	小国地域における建設事業者として、職場経験のインターンシップ受け入れ及び熊本県のロードクリーンボランティアへの参加に努める。	左記の取り組みを、2023年まで毎年実施し継続・推進を図ります。
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	月三回の社内全体会議での周知に取り組んだ、また、近隣高校からインターンシップを受け入れた。	2024年現在維持中。2021～2023にインターンシップを毎年1名受け入れた
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	機械化・生産性向上・効率化による労働時間短縮の推進	ICT技術の活用による現場管理の効率化を図り2023年までに4週6休以上を達成する
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2024年10月現在、ICT技術を活用し4週6休は達成できたが、労働効率、生産性ともに低下した。闇雲に休めばいいというものではなく、バランスを考えていきたい。	ICT技術の活用により4週6休の達成
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	認定され運用している品質マネジメントシステム(ISO9001)、BCP、プライト企業の維持・推進に努めるとともに、地域のリーディング企業としての誇りと自覚の維持に努める。	左記の取り組みを、定期的に全社員に周知し、2023年までの維持・推進を図ります。
	取り組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	定期的に全社員に周知し、2023年までの維持・推進を達成。 地域のリーディングカンパニーとして誇りと自覚を持っている。	年一回の安全大会・月二回の全体会議で周知し続けた

・「三側面」「前期のSDGsに関する重点的な取り組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」「SDGsに関する重点的な取り組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取り組みの進捗状況」には、取り組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。